

## 第 23 回 GIS 学会学術大会

### 特別セッション(6)「災害対応における GIS の利活用の新たな可能性を探る」

防災 GIS 分科会では、これまでに災害時の GIS を用いた支援活動を展開してきました。被災地で実際活動を行うと GIS を利用すれば効果的と思われる場面に多々出くわしますが、その時点では支援活動を行う人材を集めることが難しく、実際に効果的に利用できた事例は、まだまだ多いとは言えません。そこで、分科会では、この点について、過去に様々な角度から議論を行ってきました。2014 年 3 月には、内閣府で災害対策標準化検討会議報告書 <http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/kentokaigi/index.html> がまとめられ、G 空間情報や GIS への期待がさらに高まりを見せています。一方で、近年、フリーソフト、オープンデータが整備され、特に東日本大震災以降は、災害時にインターネット上での支援活動も積極的に行われるようになってきました。

そこで、本企画セッションでは、災害対応に GIS を利用するための課題について、最新事例をもとに議論することで、新たな災害対応支援の可能性について議論したいと考えています。

日 時 : 11 月 8 日 (土) 10:50-12:30  
場 所 : 会場 B (22 号館 2211 講義室)  
オーガナイザー : 畑山 満則 (京都大学防災研究所)

#### 話題提供

GIS を活用した災害対応について実践的な取り組みを行ってこられた 3 名の方々に、オープンデータ、オープンソース、IT ボランティアの台頭、災害対策標準化などをキーワードに、話題提供いただきます。

#### 話題提供者

後藤 真太郎 (立正大学)  
瀬戸 寿一 (東京大学 空間情報科学研究センター)  
田口 仁 (防災科学技術研究所)

#### パネルディスカッション

モデレーター : 畑山満則  
パネラー : 後藤真太郎, 瀬戸寿一, 田口仁